

[道政かわら版 第13号]
 喜多龍一十勝連合後援会
 〒089-0533
 中川郡帯別町札内新北町74番地16
 TEL/(0155)56-7755
 FAX/(0155)56-7766
 発行責任者/泉 耕治
 発行日/平成21年1月7日
 http://www.kitaryu.com



2009 新年あいさつ
 北海道議会議員 喜多龍一

新年にあたり、旧年中のご厚情に心から感謝申し上げます。

さて、昨年は「厳しい社会経済情勢」という表現を超える状況に入った年だと思えます。燃油高、飼料高が収まってきたと思つてもなく、百年に一度と言われる金融不安が二気に世界経済の後退を招き、派遣など非正規社員および正規社員の解雇など雇用不安が世界を覆っています。社会保障・医療などの不安解消の道筋も示されておりません。円高不況は自動車関連だけでなく、観光や水産物にまで直撃し、今後円高対策も求められてくるのではないかと心配です。ゼロ金利政策で、全ての国民の預金金利をゼロにし、お財布の紐を縛っておいて、どうして内需拡大できるのか。だからリスクを伴う海外債などへの投資を信連(農業)のよ



●平成20年第2回北海道議会定例会一般質問

うに大やけどをするのです。

北海道に目を転じると、更に厳しい経済雇用環境にさらされています。道財政が大変厳しい中にあるにも、雇用、企業立地、社会的弱者への生活支援、医療、福祉、一次産業、公共事業などへの支援を、ぎりぎりの所で講じているところですが、何とかしなければならぬ、だけれども思っていることですが、無駄を省き、目の先のことその場限りのお金と力を使うのではなく、国民・道民の生活設計・人生設計をたてられるような、政策の検討・議論が求められているのではないかと、痛切に感じます。

地域のことを一番知っているのは地域の人々だし、最も身近な市町村です。雄大な十勝の大地、豊富で安全な農林水産物を生かし、原料供給から加工し付加価値を高めていく層の厚い産業構造に転換していく取組み、森林を守り育て、将来にわたって安定的・計画的に材を供給する取組みは、山村地域の経済の活性化と雇用を生み出します。豆やながいもと同じように、広尾の昆布は、一所懸命の工夫と努力によって価値が高まり、値が上がりました。それらの稼ぎ場所は、域内・道内・国内そして国外へと目を向けるべきだと思います。そのため、基盤の整備は、海運・航空・高速交通網や情報などハード・ソフト両面にわたって整備し、底上げをはかっていくなければなりません。しかし、十勝帯広空港は高い航空運賃からお客離れしており、JALさんがいくら頑張っても頑張りきれない事態を回避するため、関係するところが力をあわせて、何が何でも守り改善することが急務なんです。道はないことはないんです。ひとつひとつの課題にしっかりと取

り組むことが大事なんです。ちなみに12月に予算編成で帯広―東京を往復しました。繁忙期とは言え片道40,600円、往復81,200円でした。とてもじゃないがやられてられません。十勝出身者が家族を連れて帰省したくても5年も10年も帰省できない、そんな現実にも身を置く人々の悲しみを真剣に受け止め、何とかしようとする人たちに、十勝の先頭に立ちてもらいたいと、切実に思います。

地域の持つ潜在力をさがし磨きをかけて、地域を活性化させる、どうやったら雇用を維持したり生み出すかを、市町村が住民と協同して考え取り組む、道も助言・情報提供など後押しをする、そのことを意識して日々の仕事に臨む姿勢を、心の底から期待します。

このあいさつ文、なかなか書けませんでしたが、何を書いてもむなしくなるばかりでした。元気にいこう、それが自分の役割だと自分に言い聞かせても、やっぱり駄目でした。じゃ、正直なところを少しでも言おうかと、こんな暗いあいさつ文になりました。申し訳ありません。

でも、気合を入れなおして微力を尽くしていこうと思っています。

皆さんの厳しいご指導と力強いご支援をお願い申しあげ、年頭のご挨拶と致します。



●元文部科学省 寺脇研氏と子ども農村漁村交流プロジェクト 大樹町指定を受け、大樹町訪問



一 地上デジタルテレビ放送への転換について

まず、地上デジタルテレビ放送への転換についてであります。

国は、2001年7月の電波法改正において、アナログテレビ放送による周波数の使用を2011年7月24日までに終了すると決定しました。

その狙いは、「周波数利用の効率化、多チャンネル化、高画質化、高機能化を実現する技術であり、衛星放送分野に加え、地上放送分野でも導入が進むなど、世界の潮流の中で、わが国の放送分野の国際競争力を確保していくために重要、家庭のマルチメディア化を促進し、放送事業者、機器製造業界等にも幅広い波及効果を及ぼす」としてお

ります。デジタル化になっても、

平成20年第2回北海道議会定例会一般質問要旨 平成20年6月18日

全ての世帯に電波が届くのか。昨年9月に、総務省が発表した「市町村ロードマップ」によれば、道内のアナログ受信世帯約227万世帯のうち、デジタル化へ移行した場合、難視聴と想定される世帯は、NHKでは5,840世帯、民放では6,990世帯となっていることとあります。

また、この広い道内をカバーするためには、2010年末までに、NHKでは180局、民放では、最大163局の中継局の整備を行う必要があるということとあります。

現在、札幌、旭川、函館、帯広など、主要都市を中心にデジタルテレビ放送が行われ、今年3月末で約84.5%の世帯をカバーしているとのこととありますが、これが大変だと思つてお

ります。地上デジタルテレビ放送への転換が国策として行われておりませんが、このことが国民・道民及び自治体等

に及ぼす影響や、懸念されることは何かという観点から、数点伺ってまいります。

(一) 中継局の整備について

まず一点目は、中継局の整備についてであります。中継局は、一義的には免許主体である放送事業者が整備することが基本であるといえ、アナログ波の時代、市町村が大変苦勞しながら、民放に協力し、中継局建設を行ってきました。

放送事業者による自力建設が困難な中継局の整備については、市町村が国の補助などを活用し、整備する制度が昨年度に創設され、今年度からは、国の補助率が1/2に引き上げられたとのこととありますが、市町村が中継局の設置者となった場合、その初期投資の整備費、インシヤルコストは、どの程度の額になるのか、また、ハード・ソフト両面でランニングコストがかかると思

いますが、一中継局あたり毎年いくらかかるのか、そして、それを誰が負担していくのか、伺います。

(二) 視聴者の地域間格差について

次に、視聴者の地域間格差についてであります。

アナログテレビが今日まで全ての地域をカバーしてきたのは、難視聴地域の住民が共聴施設整備事業として受信アンテナを設置し、

半世紀近くにわたり負担金を拠出してきたことによりです。私自身、こうした集落に生まれ育った者であり、そういう集落における会合を子供ながらに記憶しているところとございます。

国が、地上デジタルテレビ放送を決定しながら、難視聴地域解消の共聴施設の維持管理については、触れておりません。それは、これまで同様、住民負担にさせることを想定しているからだと思うわけでござい

ます。他方、難視聴地域以外はそうした負担はありません。ここにも地域間格差、不平等が永年にわたり存在していました。そして、これからは、継続ということとあります。これでいいのか、国は何をすべきか、民放の役割はど

こまでとするのか、視聴者の負担をどこからどこまでとしようとしているのか、また、それは妥当か否かについて伺います。

(三) 視聴者の周知について

総務省が平成17年6月に発表した地デジ放送に関する浸透度調査によれば、2011年のアナログ放送を停止することを知っている人は10人のうち一人にも満たない、という結果でした。

新年あいさつ
 喜多龍一十勝連合後援会 会長 泉 耕治

皆様、新年おめでとうございます。サブプライムローン問題に端を発した米国金融危機で世界経済が混乱に陥っている。日本経済にも当然大きな影響を及ぼしています。日本経済を再浮上させるには海外の影響を受けにくい国づくりの観点から、地方再生に重点を置いた形での内需拡大策が必須であると存じます。又地方再生、活性化の基盤づくりには王道はないが、中長期的な観点で地方分権を実現させ国と地方の多元的管理の「システム」を作ることが、この閉塞感を打破する近道だと思つ

「地域が如何に潤うしくみを作るか」を官民協同による地域の再生策で「元気がでる地域再生」づくりに頑張ろうではありませんか。私は、再生できない街は無いと信じます。喜多龍一道議と共に信ずる道を、猛進しましょう。今年皆様にとりまして幸せ多き一年であることを心からお祈り申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

●十勝連合後援会総会



●平成20年第2回北海道議会定例会一般質問

知されていると思いますが、直近の状況を伺います。

2 デジタル放送を視聴するための経費について
デジタル対応テレビにするには、お金がかかるはずであり、現状は一家に複数台が一般的であり、その社会的機能を考えるとき、もはや必需品であります。メディアを通じて、今のテレビで見ることができず、と言っているようであり、経費がかかる、と言っていないような気がいたします。どの位かかるのかも伺います。

(四)地上放送デジタル化への円滑な移行と社会的弱者について

1 社会的弱者対応について
ここ数年、地デジ対応のテレビの値段が下がってきているとはいえ、高齢者・低所得者層世帯が、安く手軽に買い換えることができて

を、図ることが示されるなど、国際航空貨物輸送における地方空港への期待が高まっていたことや、特に新千歳空港は、太平洋線や北回り欧州線の航路上にあつて、北米やヨーロッパと、わが国の主要空港の中でもっとも近い位置にあるなどの優位性を背景に、昭和62年策定の「前長期総合計画」に国際エアカーゴ基地構想が戦略プロジェクトとして盛り込まれ、平成元年から業務開始しているものであります。

2 札幌国際エアカーゴターミナル(株)の組織体制について

次に、SIACTの組織体制についてであります。SIACTの組織体制の規模と海外への営業力はどうなるのか、ポートセールスはどのように展開しているのか伺います。そして、道はそれに対してどのような評価をし、今後の課題

るものとなっていない中で、2011年7月24日まで地上アナログテレビ放送が終了する、ということに国が決めたという所が、どうにも納得がいきません。

また、高齢者世帯や低所得者層への対応について、国は何か示してきたでしょうか。ここに来て去る6月9日、この質問書を書き上げた後のことですが、総務省は地上デジタル放送総合対策本部の会合で、生活保護世帯にアナログ用テレビに取り付ける地デジ受信アンテナを現物支給するなどの完全移行達成に向けた総合対策の骨子をまとめたようであり、大変な財政出動も予想されますが、その内容と道としての評価を伺います。

についてどのように認識しているのか、伺います。

二 北海道の航空戦略について
(三)新千歳空港の24時間運用について

次に、新千歳空港の24時間運用についてであります。

そもそも航空輸送における空港の24時間運用の意義は、特に物流に顕著な効果があるといわれています。北海道各地の物産を朝から夕方にかけて収穫・集荷し、夜国内外に空輸し、未明に目

新千歳空港24時間運用に積極姿勢

喜多氏が一般質問

【札幌】18日の第2回定例会一般質問で、自民党・道民会議の喜多龍一氏(十勝支庁)が、新千歳空港の24時間運用に向けた道の取り組みをたたいた。高橋はるみ知事は「深夜・早朝時間帯の発着枠拡大に向けて、国や地元自治体、経済界なども連携しながら、積極的に取り組む」と前向きな姿勢を示した。



喜多龍一氏

また、喜多氏は昨年6月の定例会で提言した、国と道が管理する空港の一体運営についての検討状況を質問。成田部長は「道州制特区提案委員会で審議を継続している。道内容港施設の有効活用や利便性向上に意義があり、今後とも議論がさらに深まると期待したい」と述べた。

(末次一郎)

●平成20年6月19日 十勝毎日新聞

2 地上放送デジタル化への円滑な移行について

テレビは、地震・津波などの自然災害や大規模事故災害などの情報を伝える重要な手段とされ、国民の安心安全を始め、公的役割も担っており、だからメディアは公器とされるのであります。80年代の家電を軸に日本経済が状況を呈し、世界を席捲した夢の再来を、という感が拭えませんが、ここでもしても一気に切り替えるやり方が果たして国策として妥当か、知事の見解を伺います。

○指摘

それぞれご答弁をいただきましたが、数点について指摘をさせていただきます。

一まず、地上デジタルテレビ放送への転換についてであります。



●農業危機突発・十勝大集會

見られるが、民放も見たい、そういう思いから、市町村が事業実施主体となつて、全道に100ヶ所余りの中継局を設置し、維持費は市町村が負担して、今日に致つております。

ず、生活保護世帯にチューナーを現金ではなくて、現物支給をするとしており、十分ではありません。完全移行に向け、ここに来て何かバタバタしている感じが否めません。この問題に限らず、少し落ち着いて、かつ、国民にどんなこの施策の良い影響があるか、どんな懸念すべき事柄があるかなど、謙虚で真摯な姿勢が、我々政治や行政に求められていると痛感するものであります。

二 北海道の航空戦略について
(二)国際エアカーゴについて
次に、国際エアカーゴについて伺います。



●麦刈り陣中見舞い(幕別町明倫)

がら、平成6年「深夜・早朝の時間帯において国際貨物便等が1日6回を限度に離着陸できるものとするなどの合意書及び確認事項、いわゆる「6枠合意」が調印され、その後、6枠の範囲内でKLMや国際・国内定期旅客便を追加する、いわゆる「6枠弾力化合意」が交わされ、今日に至っております。

1 6枠合意の経過について
そこです、6枠合意に至る経緯について、伺います。

2 6枠の利用状況と今後の見通し及び課題について
次に、6枠における利用状況の経過と現状及び今後の利用ニーズの見通し、課題について、見解を伺います。

3 これまでの取組と今後の対応について

私は北海道自立の戦略上、この分野の取組を強化していく必要があると、かねてより考えてきたところであります。ポスト6枠合意への取組は必須の課題と考えます。道のこれまでの取組と今後の対応について、見解を伺います。

二 北海道の航空戦略について

(四)北海道空港株式会社的人事と道の対応について
1 北海道空港株式会社的人事について



●平成20年 色丹島墓参第1班出発式

また、知事は記者会見で、「北海道活性化に必要な政策展開で車の両輪として連携を図っていただきたい企業ですが、そこが不透明な部分で心配」と申され報じられたところであり、稲やかな物言いではないと感じております。どこが不透明で心配なのか、伺います。

3 道の対応について

私は、今から12年前の平成8年第2回定例道議会予算特別委員会、この問題

自由民主

LIBERAL & DEMOCRATIC

発行所
自由民主党本部
郵便番号100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
振替口座 東京00180-1-19518

自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.or.jp/>

2008活動写真



●環境保全センター(鹿追町) ●人參洗浄選別予冷施設(JAおとふけ)
●十勝しんむら牧場(上士幌町) ●生活体験モニター用住宅(上士幌町) ●士幌高校・町食品加工研修センター(士幌町)

こんにちは
知事です
高橋はるみ知事と
(平成20年10月7日)



●サンクト市議会

し、ドイツ・イギリス・ポーランド・オランダ人などヨーロッパ人により造られ、アムステルダムより大きな運河のまちで、ユネスコの世界遺産となっており総領事によれば「ヨーロッパの気風を持つ、ロシアにあってロシアでない、ヨーロッパでもない」まち、と言う説明でした。それは、経済、教育、文化、人材面で、サンクトペテルブルグがロシアに果たしてきた役割の大きさを示しています。120の大学、350の研究施設があり、知識層のまちと言われ、国の世論をつくる場所とされていることを示しています。また、日口間に領土問題があるという点を皆わかってはいるが、ここではデモはないそうです。マトビエンコ女史は市長ではなく知事(もともと首都であった)であり、連邦に90の州があるが、政府に直接ものが言える地位にあるそうです。メドヴェージェフ大統領やプーチン首相は同市の幹部出身で、人材供給の泉のようです。自動車産業では、フォード・トヨタ・日産・GM・現代・スズキが進出しており、アジアが4/6とアジアのゲイトウェイとも言える状況になってきています。日本の銀行二行がすでに進出し、昨年ジェ



●札幌野遊会



●大地の里開所式



●農清会(清水町)農政懇談会

トロが開設。柔道・剣道・空手がすごい人気で、体や美容に良いと、お茶お花を含めすごい日本食ブームだそう。採れるのはにんじん・たまねぎ・いもだけと言われ、他の農水産物は輸入で、お寿司屋だけで400軒あるが、米やネタの具材がないそうです。マトビエンコ知事も日本との直行便を重視し、今年そのことで訪日しています。ピョートル大帝時代の1703年頃、アリューシャンからカムチャッカに向かって漂流した日本人漁船員を教師として、世界ではじめて日本教育を公的に始め、後の東洋学校へとつながり、経済交流だけでなく文化交流も盛んで、「日本の春、日本の秋」と言うイベントを定期的に催したり、日本から寄贈された図書が使われるなど、今日までその歴史を大切に継承しているようです。

最終日、堀田長から市議会やギヤ国際問題担当全権代表に「領土問題でロシア政府との「架け橋」になってほしい」と語りかけました。まさに日露両国の未来にとって、さまざまな観点からサンクトペテルブルグは、「重要なところ」と、明確に意識しなければならぬと感じました。

十勝毎日新聞 平成二〇年十一月八日



●りくべつ鉄道開業式



●女子野球ワールドカップ優勝 志村亜貴子選手と(広尾町開町記念にて)



●大樹町80周年記念植樹祭

人工林の管理強化求める
自民党・道民会議 林業政策提言

【札幌】道民会議の自民党・道民会議は10日、道の林業施策に対する提言を行った。道産材需要の高まりに伴い、放置された伐採跡地が増加しているため、人工林の管理強化などを求めている。

「森林資源の適切な管理を基本とした林業再生の取り組み方針」と題した提言。党の水産林務分野研究会(喜多龍一理事長)がまとめた。①人工林資源管理の強化②道産材の付加価値を向上させる木材産

業の育成③林業再生を担う林業事業者の育成を柱としている。

①では地域別に樹種別の伐採・造林計画を新たに設定、森林法に基づき道と市町村の計画に盛り込んで森林所有者への指導を強化、計画の順守を目指すよう求めた。②では用途や等級など原木利用について業界のルールづくりを促す。

喜多氏は「今回は流域別の伐採量設定など、道と業界の取り組み強化を促すことと見送った」と説明した。道は提言を来年度予算などに反映する方針だ。(末次一郎)



●十勝ブラック&ホワイトショー



●千年の森全面開園



●福島千里選手、山本幸平選手北京オリンピック出場壮行会

新聞記事・雑誌から

十勝毎日新聞 平成二〇年七月十日

一步になったとし、民主の行動については、民主は支庁再編を消極的に支持している。方向は与党と同じとの見方を示した。サミットでは(会)議の論議が環境、原油、食料の3テーマに絞られた意味は大きい。北海道としては、サミットを今後にながす取り組みが大切と強調した。

十勝毎日新聞 平成二〇年十一月十日

我輩は秘書である

昨年からは、燃油高騰、サブプライム問題など景気の悪い話が続いています。そんな中、広尾町の飼料コンビナートもいよいよ着工が始まりました。更に大樹町では、宇宙関連の実験が本格化してきました。そして、高規格道路も中札内村まで開通しました。

ご主人様が、生まれ故郷の音調津の新年交礼会で「十勝は輝いている」と挨拶しました。聞いていた同級生は、「そうだ、輝いているのは、龍のデコだ」と言っていました。ご主人様が、十勝に住む者が夢と希望を持てる施策を期待します。

景気が悪くとも目覚しく発達したのは、IT産業です。インターネット、ワンセグ、地デジ等により情報の多種多様化が図られ、大変便利な世の中になりました。反面そのような情報ツールを利用した犯罪や事件が後を絶ちません。でも、便利です。ご主人様はこれまで原稿は手書きでした。それが、PCを使いデータになりました。おかげで、文字の解読作業がなくなりました。それと、ホームページも少しですが、充実してきました。ご主人様の論文級ブログもアップしていますので、暇を見つけてご覧下さい。(喜多龍で検索しても簡単に見つけることができます)

ご主人様は今年も「かいパツク」にPC入れて走り回りますので、我輩に代わりごき使ってください。

編集後記のかわり
匿名M秘書
HANA-NAK <http://www.kiranu.com>

告。道政特定財源の暫定税率失効による国や道の工事発注の遅れについて、「発注が延びると事業者の資金繰りが心配される。セーフティネットも考える必要がある」と述べた。二つ目、道路特定財源の一般財源化については「従来、市町村に支給された交付金などが担保されるの見通せない」となるかを考えるべきで、落ち着いた議論を求めたい」とした。

また、持続可能な林業を確立するため、道議会に条例案の議員提案の準備を進めていることなどを明らかにした。

喜多龍一 道議(十勝支庁区)の十勝連合後援会(泉耕治会長)総会
10日午後、帯広市の札内福祉センターで開かれた。

泉会長のあいさつ、昨年度の事業・決算報告に続き、喜多氏が道政報告。